

中央電力株式会社向けプラットフォームサービス
(東京ガス供給エリア)の開始について

2021年6月1日
東京エナジーアライアンス株式会社

当社は、中央電力株式会社(代表取締役社長:平野 泰敏)へ、東京ガス供給エリアにおける都市ガス事業に関するプラットフォームサービスのご提供を開始いたしましたので、お知らせいたします。

中央電力は、2004年に国内で初めて「マンション一括受電サービス」を事業化し、また2014年より電力小売事業も開始しており、全国のお客様に向けたエネルギーサービスを展開されています。この度、中央電力は、当社のプラットフォームサービスを通じて、東京ガス供給エリアでの都市ガス小売事業を開始いたします。

(参考) 中央電力リリース https://denryoku.co.jp/news/news_release/1053/

以 上

※東京エナジーアライアンス

当社は、東京電力エナジーパートナー株式会社、日本瓦斯株式会社が50%ずつ出資する合弁会社であり、2017年8月から事業を開始し、さまざまな事業者様に都市ガスの事業運営基盤(プラットフォーム)をご提供しております。

今後も、業種の枠を超えて新たな可能性に向けた連携を目指しております。

【提供実績】

プラットフォームサービスをご採用いただいた小売事業者、およびその取次先での利用を含めると70社以上の事業者様にご利用いただいております。(2021年5月末実績)

※プラットフォームサービス

当社は、都市ガスの調達や販売に必要な機能・ノウハウ、保安サービスの提供、エネルギー小売システムの提供など、都市ガス事業新規参入に必要な機能を総合的に備える事業運営基盤(プラットフォーム)サービスをご提供しています。